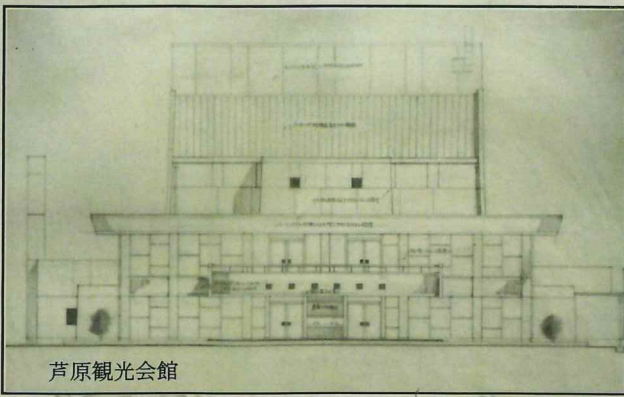
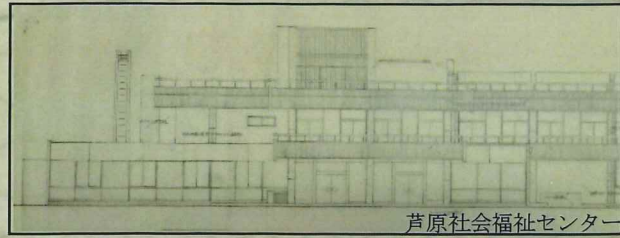


福井県戦後建築アーカイブ展

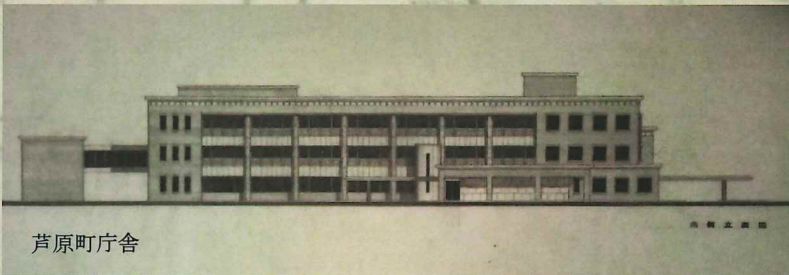
ローカル・アーキテクト像を求めて



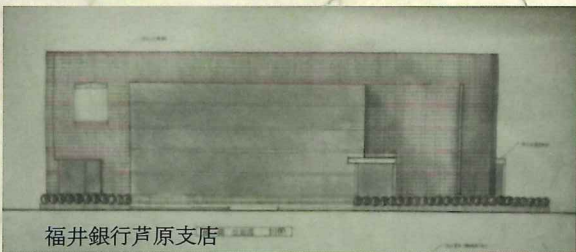
芦原観光会館



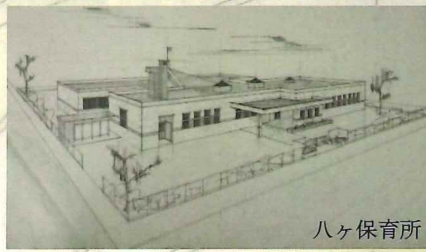
芦原社会福祉センター



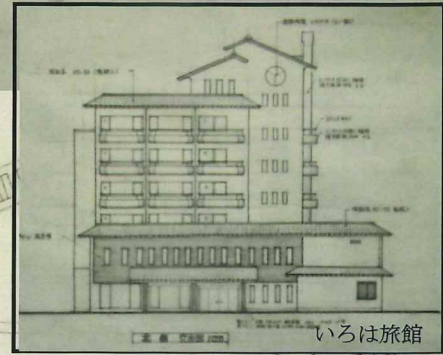
芦原町庁舎



福井銀行芦原支店



八ヶ保育所



いろは旅館

第4回 芦原のモダニズム建築

小木 藤八郎 と 共栄建築設計事務所 展



小木藤八郎（1925～2000）は、アルス建築事務所を経て1967年に「共栄建築設計事務所」を開設し、1990年前後の最盛期に20名以上のスタッフで「意匠・構造・設備・測量・営業」各部を組織して総合設計力を大いに発揮した。また福井県建築設計監理協会・理事長として歴代最長10年（1987～1996）にわたり活躍したことで知られる。前期の代表作「芦原観光会館・社会福祉センター1970」は、ル・コルビュジエ風の打ち放しコンクリートによる2棟が並び建ち、「芦原のモダニズム建築」に相応しい名建築である。さらに後期の「芦原町庁舎1981」「福井銀行芦原支店1987」では重厚なファサードが特徴的である。このほか「ニュー芳泉荘」「いろは旅館」「芦原グランドホテル」「芝政・地下博物館、ジャンボプール」「八ヶ保育所」「勝山市教育福社会館」等、小木の故郷・芦原を中心に主要作品のトレーシングペーパーの手描き図面を初公開する。また事務所OBの多様な作品も合わせて展示する。皆さま、ぜひご来場ください。

日時：2026年 5月 29日(金)、30日(土)、31日(日)

展示解説：5月31日(日) 10:00～11:30

会場：福井県立美術館 1階 ギャラリー（入場無料）

講堂「芦原のモダニズム建築」（無料・申込不用）